

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## SDGsレポート\_2024



2024/8/8



# 目次

2023年度の活動報告 . . . . . P2

2023年度の活動内容 . . . . . P3~8

目標に対する進捗状況 . . . . . P9~11

2023年度活動したオフィサーからのコメント . . . P12

2024年度の活動について . . . . . P13



# 2023年度の活動報告 (Summary)

- ・「環境 (E)」「社内 (S)」「ガバナンス (G)」の3側面に対して、2030年末までに達成する目標を設定
- ・上記、ESGの3側面毎にチームを結成し、目標達成に向けたアクションを実施
- ・製造及び営業拠点のある、埼玉県、長野県、愛知県のSDGsパートナーに登録

## 《継続活動》

- ・エコキャップ活動 (川越工場主導で全社で実施)
- ・ニチバン巻心ECOプロジェクト (川越工場主体)
- ・寄付型自販機の導入
- ・地域のクリーン活動への参加



# 2023年度の活動内容

## 目標設定

「環境（E）」「社会（S）」「ガバナンス（G）」の3側面に対して、2030年末までに達成する目標を、以下の通り設定しました。

3側面	活動テーマ (重点的な取り組み)	目標値 (指標)
E (環境)	CO <sub>2</sub> 削減	2022年度時点 (総CO <sub>2</sub> 排出量 : 888,280kg) 2025年度 : ▲3% 2030年度 : ▲5%
S (社会)	社会貢献活動	クリーン活動や外部ボランティア活動に参加 2025年度 : 35回/年 (延べ1,000人参加) 2030年度 : 40回/年 (延べ2,900人参加)
G (ガバナンス)	有給休暇取得率UP	有休付与日数に対する取得率50%以上の割合 2022年度時点 : 全社員の74% 2025年度 : 80% 2030年度 : 90%



# 2023年度活動内容



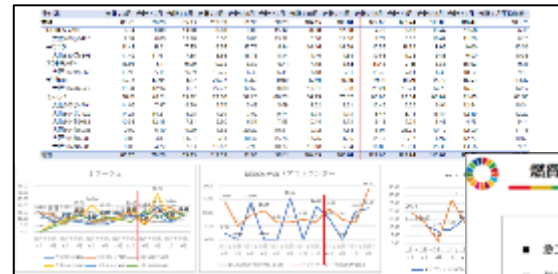
## 2023年度着手

	活動テーマ	活動内容	
E (環境)	CO2削減	電気使用量の削減	デマンド活用による時間帯別電力使用状況の把握と見える化
			一部空調へのプロペラの設置
			空調フィルターの自主清掃
			節電啓蒙活動（貼り紙）
		社用車 ガソリン使用量削減	事業所毎に社用車の燃費の見える化
			燃費向上啓蒙活動（営業車へのチラシ配布）
		廃プラスチック削減	ラミネート5mm巾削減 →約7kg削減
幅取りによる幅残再利用 →約147kg削減			

電力使用状況グラフ（デマンド）

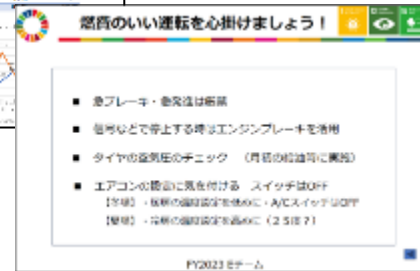


プロペラ



営業車別燃費グラフ  
(燃費の見える化)

燃費向上啓蒙チラシ





# 2023年度活動内容



## 2023年度着手

	活動テーマ	活動内容
S (社会)	社会貢献活動	ボランティア活動 NPO法人ピース・アニマルズ・ホームへの新聞紙寄付 一般社団法人世界こどもワクチン基金への古着寄付 →120人分のDPTワクチンを支援
		AEDの設置 (大阪、名古屋、長野) *川越工場については設置準備中
		花いっぱいプロジェクト (生花を飾る)

新聞紙寄付



感謝状をいただきました！

古着寄付



感謝状をいただきました！

AED設置



花いっぱいプロジェクト (生花を飾る)





# 2023年度活動内容



## 2023年度着手

	活動テーマ	活動内容
G (ガバナンス)	有給休暇取得率UP	有給休暇関連アンケートの実施による実態把握と結果共有 有給休暇制度説明資料の配布

**有給休暇推進：アンケート結果共有**

有給休暇を取得しやすい職場環境整備への第一歩として、自部署の状況を再認識、且つ、他部署の状況の理解をしてもらう為アンケート結果（有給休暇を取得しやすいか？）を全社員に共有。

**FY23活動内容：実状把握アンケート**

有給休暇は取得しやすいか？（全体）

約6割の社員は有給休暇を取得しやすいと感じているが、4割の社員は、有給休暇を取得する事に対し、なにかしらの障害や抵抗があると感じている。

**有給休暇とは**

有給休暇（年次有給休暇）とは、一定期間勤務した労働者に対して、心身の疲労を回復しゆとりある生活を保障するために付与される休暇のことです。

**POINT**

- ✓ 有給休暇を取得しても減給されない（＝通常業務扱い）
- ✓ 使いきれなかった日数分は
- ✓ 付与されてから2年間で失効（MAX40日保有できる）
- ✓ 1年（4/1～翌年3/31）の

**全休・半休（午前半休/午後半休）**

全休：所定の労働時間分（全日）取得できる

半休：午前半休と午後半休があり、半日取得できる  
※パートタイマーは使用不可（時給制のため）

三光産業では、

**午前半休：13時～業務開始**

**午後半休：～12時以降退勤**

となっています。



# 2023年度活動内容

## 自治体SDGsパートナー登録

工場、営業拠点のある、  
下記3県のSDGsパートナーに登録されました

### 埼玉県



### 長野県



### 愛知県







# 2023年度活動内容



## 継続活動

### 活動内容

ボランティア活動	地域クリーン活動参加／自主清掃活動の実施
	本社 : 11回 (参加者累計 : 64名)
	大阪 : 3回 (参加者累計 : 32名)
	川越 : 9回 (参加者累計 : 97名)
	長野 : 12回 (参加者累計 : 102名)
名古屋 : 4回 (参加者累計 : 29名)	

SDGs啓蒙活動 (一言多い貼り紙)

寄付型自販機の設置・運用

巻芯ECOプロジェクト参加

エコキャップ収集

乙姫の設置

地域クリーン活動



SDGs啓蒙活動 (一言多い貼り紙)

寄付型自販機



巻芯ECOプロジェクト



エコキャップ収集



乙姫



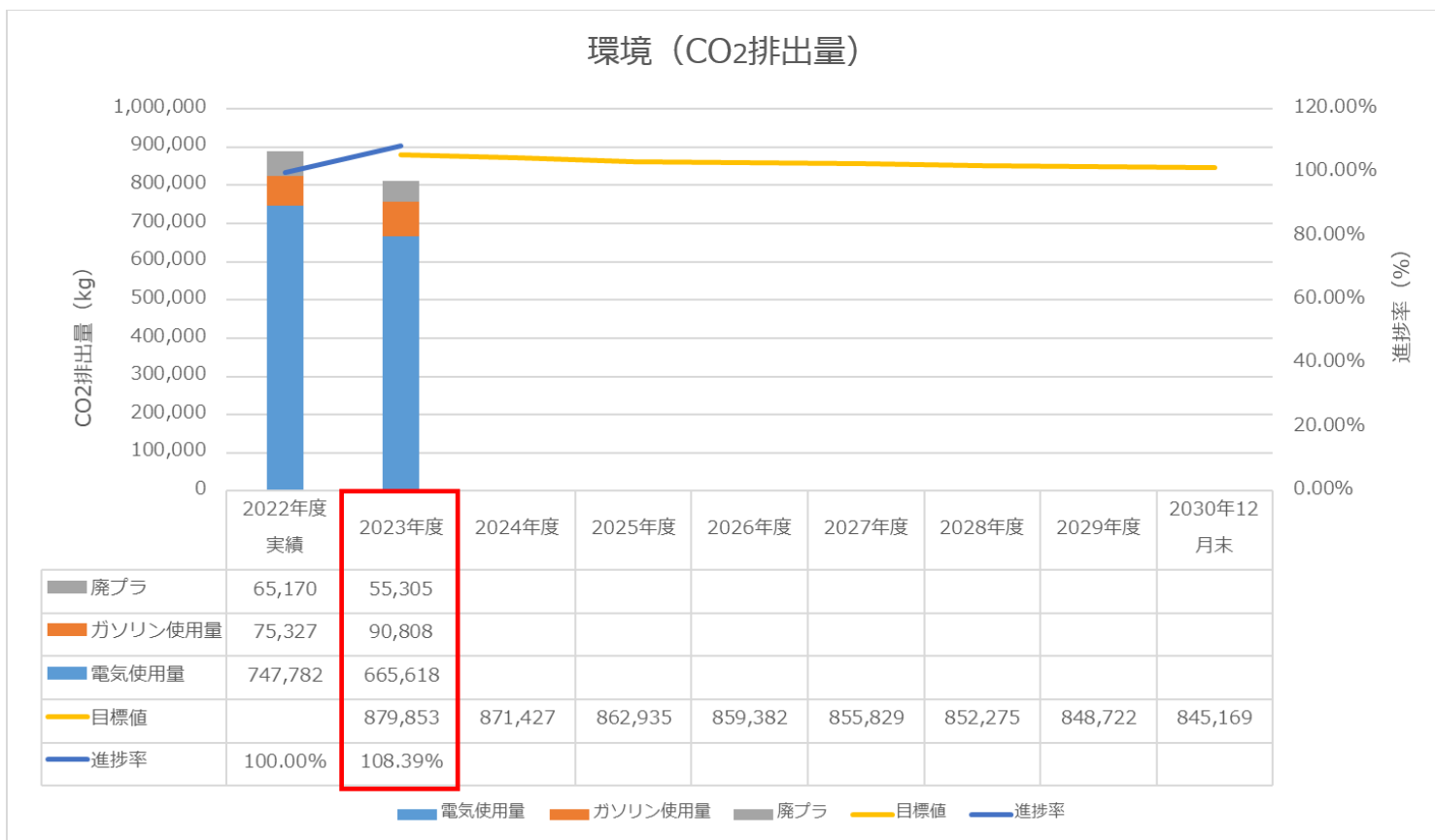


# 目標に対する進捗（環境）

## CO<sub>2</sub>削減

進捗率：108.39%（CO<sub>2</sub>排出量：811,731kg／2023年度目標：879,853kg）

《考察》 2023年度の目標数値は達成。  
しかし、企業の持続的な成長のためには生産活動は増えることとなります。（＝CO<sub>2</sub>排出量は増える）  
今後継続して目標達成するには、個人がCO<sub>2</sub>排出を減らすことの意識が必要になると考えております。





# 目標に対する進捗（社会）

## 社会貢献活動参加

進捗率（参加数） : 130.30%（社会貢献活動参加数：43回／2023年度目標：33回）  
 進捗率（累計参加人数） : 126.10%（社会貢献活動累計参加人数：686人／2023年度目標：544人）

「考察」 2023年度の目標数値は達成。  
 参加数、累計参加人数共に目標を大きく上回れている為、来年度以降も継続していく事が重要と考えております。

社会（参加回数）



参加回数/年	2022年度実績	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年12月末
参加回数/年	32	43							
目標値		33	34	35	36	37	38	39	40
進捗率	100.00%	130.30%							

■ 参加回数/年 ■ 目標値 ▲ 進捗率

社会（通算参加人数）



参加人数(人)	2022年度実績	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年12月末
今年度	317	369							
～昨年度		317							
目標値		544	771	1000	1380	1760	2140	2520	2900
進捗率	100%	126.10%							

■ ～昨年度 ■ 今年度 ■ 目標値 ▲ 進捗率



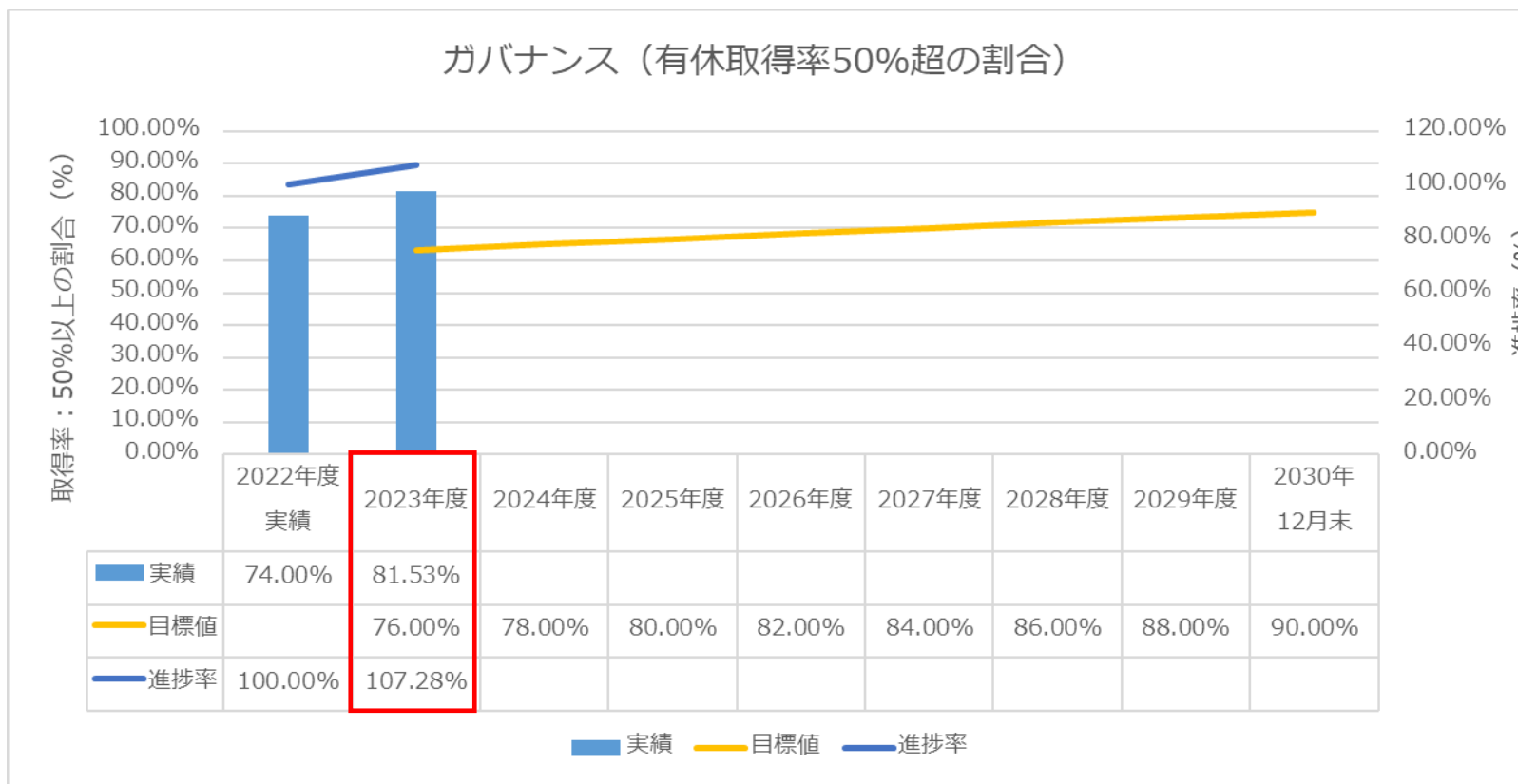
# 目標に対する進捗（ガバナンス）

## 有休取得率UP

進捗率：107.28%（有休取得率\*：81.53%/2023年度目標：76%）

\*単年度付与日数の半分（50%）以上を取得している社員の割合

《考察》 2023年度の目標数値は達成。  
しかし、2023年度は会社状況により、取得率が向上していた可能性もある為、継続活動をしつつ、来年度の結果を再度、精査する必要があると考えております。





# 2023年度SDGsオフィサーからのコメント

## 参加して良かったこと

今まで話したことのない人達と交流でき、色々な考えや意見を聞いたこと。（川越工場）

チームで会社全体を通した大きな活動で、やりがいがあった。活動にスピード感があり、積極的に意見を出しやすい雰囲気があった。（大阪）

人の意見を聞くことで、新しい視点や考え方を学べたり、一緒に活動する他部署の方と絆が深まった。具体的な成果や効果をアンケートの集計結果から見ることができました。（本社）

他事業所と活動をすることでかかわりが出来た。今まで製造中心だったが会社全体のことを考え活動でき、いい経験になった。（長野工場）

## 改善が必要と思ったこと

従業員がSDGsに対する姿勢がまだ足りないと感じる。（長野工場）

活動時間が限られているのが残念。徐々にやりたい事が思いついてきたので、1年は短かった。ピッタリ1年ではなく途中から次年度の人も参加したら良いかと思います。（川越工場）

成果が可視化できたらよかった。そのために、適切なモニタリングや評価体制を整えていくことが必要だと感じた。（本社）

クリーン活動は参加メンバーの偏りが見られた。1回も参加したことが無い人がいなくなる様、社員同士で呼びかけをしていく必要がある（本社）

まとめると…

【良かった点】

・多くの方が他事業所と作業を行うことで、新たな視点や考え方を学べた事にメリットを感じられたようです。

【今後の課題】

・目標達成のため、従業員のSDGsに対する意識をより高めていく事が必要になると思われます。

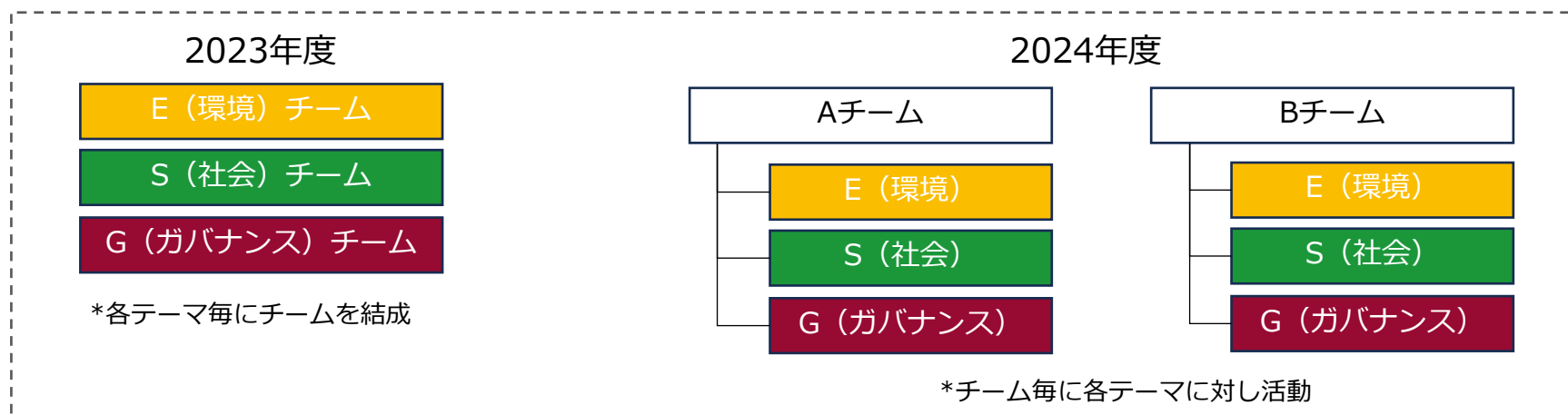




# 2024年度の活動について

サステナブル委員会（9名）と今年度のSDGsオフィサー（11名）の合計20名を中心に  
全社で活動します。

今年度は、上記メンバーが「Aチーム」「Bチーム」に分かれ、  
「E(環境)」「S(社会)」「G(ガバナンス)」の各目標達成に向け、  
各チームが3側面それぞれに対して活動を実施します。



SDGsオフィサーが中心となり活動を行いますが、  
目標達成のためには従業員のご協力が必要となりますので、  
SDGs活動に積極的にご参加頂けます様、宜しくお願い致します。



# SDGsレポート\_2024



E O F

